

Que Será, Será

VOL.78
2014
AUTUMN



初秋の清水谷公園



不安のない生活——(23) ミュンヘンの思い出 その一

医療法人 和楽会 理事長 貝谷久宣



オリンピックが終わった年(1972年)の秋から2年間留学生生活をミュンヘンで私は送りました。それは私の人生の中でも最も輝いていたひと時でした。期待と緊張で胸をときめかしてマックス・プランク精神医学研究所の門をたたいたのです。ミュンヘンの秋はオクトーバーフェストが始まります。訪問初日は、神経病理学研究室の人すべてが仕事を早く切り上げて、ビール祭りに行くことになっていました。そして、私も切符が一枚余っているからということに誘っても

らいました。当時できたてほやほやの地下鉄に乗ってレージエンヴィーゼに向かうと、そこにはサーカス小屋で使うような巨大なテント小屋がたくさん並んでいました。地元のプロ野球社が自前のテントでビールを飲ませるのです。テント小屋の中央にはバイエルンの民族衣装を着けた楽団員が調子の良い曲を流していました。ホーフプロイといった大手のビール会社のテントには千席近くがあり、大ジョッキを次々に飲み干し、人波の中で肩を組み合って乾杯の歌「アイン・プロー



1973年頃のミュンヘンのマックス・プランク精神医学研究所

「ジット」を大声で歌うので
す。それは南ドイツの気分
をそのまま伝える素晴らし
く陽気な雰囲気でした。
単身の留学生は気楽なも
のでした。午後4時になる
とドイツ語研修のために研
究所を離れ、クレペリン通
りを抜けシャイデプラッツ
地下鉄駅から3駅目のギー
ゼラシユトラッセまで乗り

ます。ゲーテ学院は駅から
すぐのところでした。ここ
ではドイツ語を習うために
世界各国から生徒が集まっ
ていました。私のクラスに
は、ハンガリーから亡命し
てきた金髪の看護師、ドイ
ツ人と結婚した陽気なイタ
リア妻、ドイツ語を身に付
け故郷で高給職を狙うフラ
ンスの田舎娘、ドイツで医

学部を目指す
す陰気な日
本人男性、
日本人そっ
くりのポル
トガルから
来た若妻、
不法入国で
送還されて
いった髭面
のイタリア
人男性など
まさに人種
のるつぼで
した。授業
は平凡です

が、その後の課外活動がと
ても楽しいものでした。近
くのイタリアンリストラン
テでワインをひっかけスパ
ゲッティを食べながらの談
論風発です。全員片言でワ
イワイやるのです。授業の
文法は劣等生のイタリア人
がこの時になると俄然元氣
に談笑を始めます。文法は
めっちゃくちゃでも一番よく
しゃべりちゃんと通じるの
です。私自身ほろ酔い気分
で緊張が解けこの時間にな
ると結構スムーズにドイツ
語が出るのに驚きました。

日本の若者と異なり、国際
問題が日常的な話題となっ
ており、当時の日本の若者
よりずっと深刻な話が出て
いました。
10月に渡独して12月まで
の語学研修期間は単身でし
た。その間は、研究所に勤
める女性が半年間のウアラ
UP(バカンス)で不在中の
マンションを借りました。

家具も寝具も台所用品も全
部そのまま使うことが出来
大変重宝に暮らしました。
この住まいはバイエルン王
の夏城であるニンヘンブル
グ城に続くシュュロス・カ
ナル近くへのリック・
イブセン通りにありました。
ひっそりとした高級住宅街
の瀟洒な2階建て住宅の2
階でした。日曜日には近く
の公園にたくさんのお老人が
日向ぼっこに来ていました。
もうこの頃よりドイツはあ
る意味で老人大国になって
いたのでしよう。今でこそ
日本でも老人を結構たくさ
ん見かけますが、当時この
光景を見て何か不思議な感
じがしました。また、12月
になりカナルが凍り、地
元男性がカーリングのよう
なスポーツを楽しんでいま
した。見るもの聞くものす
べてが珍しいものばかりの
毎日でした。湿気の多い日
本からドイツの乾燥した天

候の生活に入りオランゲン・
ザフトが素晴らしくおいし
かったことが忘れられませ
ん。この高気圧で乾燥した
気候のお陰で私の喘息は
すっかり影をひそめました。
さらにストレスのない自由
気ままな生活もよかったの
でしょう。ここでの3か月
間の単身生活は本格的な研
究生活に入る前のドイツ生
活に慣れるためのウォーミ
ングアップとして大変意義
のあるものでした。



お好み焼き・父の味

医療法人 和楽会 なごやメンタルクリニック院長

原 井 宏 明

夏休みに焼くお好み焼き

夏休みの間、名古屋に大学院生の息子と大学生の娘がやってきました。久しぶりに親子団らんができて、夕食を何にしようかと尋ねたら、「パパが作るお好み焼き」が返事でした。私にも異議はありません。早速、私は頭の中で冷蔵庫の中身をチェック。キャベツと削り節は買い置きがある。とろろ昆布は前回のときの残り。冷凍庫にある、小麦粉はあるけど、3人分には足りないな、ネギとちや、豚バラ、竹輪、焼きそば用の麺、スライスチーズは買わなくていいが、お好み焼きソースを切らしてプで代用するか。朝、家を出る前に溶かします。箸で表面に円がギリギリ書けるぐらいまで薄くして、出汁の素を入れて、冷蔵庫で保管します。

夕方、帰宅するとき、必要なものをスーパーで買いそろえます。家についてからホットプレートを出し、材料を切り、皿に盛り、食卓テーブルに並べて準備完了です。ソースについては子どもたちがオタフクソースを希望。古くなったウスターソースの使い道がなかなかみつかりません。最初にホットプレートを温め、油を引き、溶かした小麦粉を落とし、お玉の底で丸く拡げてクレープのようになります。朝から小麦粉を寝かして置いたおかげで、伸びが良く、塊になつたり、穴が開いたりせずに薄くすることができました。小麦粉の薄焼きができたなら、その上に削り節を撒き、小口切りのネギと輪切りの竹輪、粗いみじん切りにしたキャベツ、もやしを乗せます。ホットプ

レートの空いたところで焼きそばの麺を炒め、塩コショウをします。その間に、とろろ昆布とスライスチーズをキャベツの上に乗せ、炒め終わった焼きそばを乗せ、その上に豚バラの薄切りを乗せます。最後に加えるのは卵。ホットプレートの空いたところに卵を落とすように丸く薄く揚げます。小麦粉の下にコテを入れてひっくり返して、まだ生焼けの卵焼きの上に載せ、小麦粉の上に乗せた野菜や肉を落とさないようにうまく卵の上に載せるのは熟練の技が必要。うまく行くと子どもたちが拍手してくれます。ホットプレートの外にまでぶちまけてしまったときは、父が一人で黙々と後片付け。

後は数分間、野菜や肉が焼けるのを待つばかり。コテで小麦粉の上を押さえてジュージュー言わせるのもあります。しみ出した汁が焼けるときの匂いの香ばしさ！これは子どもたちがやりたがります。キャベツが十分蒸し焼きできたら、もう一度ひっくり返して、卵の側を上にし、そこにソースを塗りつけて、あとは切って食べるばかり。十字に切るので4切れできます。息子が二切れ、娘が一切れ。私の分には一つは取り置きしようと思いますが、食べる前に次のお好み焼きに取りかからなければなりません。お好み焼きの問題点は調理中に食欲をそそってしまうことです。目の前で練り広げられる調理のプロセス、ひっくりかえしてからの数分間に香り立つ肉や野菜が焼ける匂い、最後にソースが焦げる匂い。焼く側にとっては自分の分を食べられる暇はひっくり返してからの数分間だけです。焼きそばを焼いている間に、残っていた一切れは息子と娘に奪われてしまいました。私は、お預けです。空腹

のままでいることは不満なのですが、子どもたちが自分の作ったものを喜んで食べてくれる父親としての喜びの方が不満に優ります。お好み焼きの材料はまだまだあります。結局、この日は6枚、焼いたのでした。1枚10分はかかりますから、私は1時間、立ちっぱなし。

お好み焼き・息子の思い出

お好み焼きを食べながら、息子に私のお好み焼きをどう思うか、尋ねてみました。

「お好み焼きは家族統合の象徴だね。」
「そういう意味か尋ねると、
「オヤジが肥前療養所で働いてたときでも、学会や研究会なんかでよく出張があった。オヤジが帰ってくる、その日はお好み焼きだった。『パパが帰ってきた』という気持ちと結びついているね。」

淋しい思い出をさせていたのかなと思いつつ、お好み焼きは私が一人のとき、自分だけのために作ることはない、家族が揃ったときにしか作らない、息子の言うとおりだ、と考えていました。

私の思い出

ここで書いたお好み焼きは広島風です。私のお好み焼きは亡くなった父が焼いていたのを真似たものです。食卓について私の一番古い思い出は、5、6歳のころから台所にあった1m四方ぐらいの大きさのお好み焼き用ガステーブルです。正方形の厚い鉄板が真ん中にあり、それを15cmぐらいの幅の木製のテーブルが囲んでいました。これを使って父がお好み焼きをつくっていました。ガスで火力が強く、ホットプレートよりも早くお好み焼きができがあります。父は広島出身です。「一銭洋食と

言って、広島駅のまわりに屋台がたぐさんあった。学生のころよく食べた」というのが父の口癖でした。私もお好み焼きと言えば、この焼き方が当たり前と思いついていました。中学になってから、友だちと外に食べに行つたとき、関西風のお好み焼きに遭遇したときに驚きました。店主が小麦粉、キャベツと分けて焼くのを面倒に思っ手抜きをしたものを出したのか？と思つたほどです。

（私が住んでいたのは京都ですから、お好み焼きは関西風がメジャーです。小麦粉やキャベツ、卵を全部混ぜ合わせてから、ふわっと焼き上げます。上からコテで押しつけるようなことはしません。名古屋も関西風が普通。）

結婚する時、大病院でお世話になつたオーベンの先生から、お祝いに何が良いか尋ねられました。迷わず「ホットプレート」と答えました。亡父のようにお好み焼きを家族のために焼くことが目的でした。

本当に広島風？

私がお好み焼きを焼くようになってから、気になったことがあります。家族は私の作るお好み焼きを広島風と信じています。お好み焼き屋は九州にもあります。そしてどこも全て関西風でした。広島風は私が作るものしかなかったわけですが、私は不安になりました。「私の作る広島風は本当に広島風なのか？」。私は父が作った広島風以外の広島風を知らないわけです。

最初に紹介したのは、私が広島に行く機会があったとき、八丁堀にある屋台村での焼き方を真似たものです。父はもやしと焼きそば、チーズを入れませんでした。卵は肉の上に乗せ、その上から水溶き小麦粉をか

けていました。父の広島風は一銭洋食時代のものなのかもしれない。私は私なりに進化させたことになるでしょう。

記憶の役割

記憶が私たちにどう果たしてくれる役割とは何でしょうか？日常生活を送る上で記憶が欠かせないのももちろんです。冷蔵庫の中に何があるのかを思い出し、お好み焼きの材料として何を買い足さないといけないのかをリストできるのも記憶のおかげです。屋台村で見た広島風の焼き方を覚えて再現するのも同じです。

しかし、もっと重要な役割は、私たちがどんな人か？という概念を作ってくれることでしょうか。「お好み焼き」の思い出は、私の父がどんな人であったのか、私はどんな人なのか、という概念を作ってくれています。私の子どもたちもお好み焼きから自分の父親のことを思い出してくれま

す。「自分は誰か？何者か？」自分のすること、なすことが残す記憶がこの答えを作っていると思うと、日々の暮らし方も違ってくるような気がします。



（原井宏明略歴）

一九五九年京都生まれ。一九八四年岐阜大学医学部卒業。神戸大学精神科、国立肥前療養所（現、肥前精神医療センター）、国立菊池病院臨床研究部長、診療部長を経て、二〇〇八年一月から、なごやメンタルクリニック院長。日本行動療法学会認定専門行動療法士。動機づけ面接トレーナー。

起立性調節障害

医療法人 和楽会 横浜クリニック院長 工藤 耕太郎

以前お話しした血管迷走神

経反射もポピュラーな病態ですが、起立性調節障害もしばしば外来で診ます。起立性調節障害と聞くと皆さんはなんのことかと思うかもしれませんが、いわゆる脳貧血というやつです。

今の医学用語では貧血というのは赤血球の減少を指しており、いわゆる脳貧血というのは貧血に含まれません。ただ、脳貧血、つまり脳に血がいかなくなつた状態というのは言いえて妙だと思います。

私たちの体には血液が流れています。身体の姿勢を変えても血液は身体のいろんな部位に供給され続けます。それは当たり前のことですから、普段私たちは考えていません。

しかし、よく考えてみれば、急に立ち上がった時、何故、脳に血液が流れ続けるのでしょうか？

身体全体の血管は一つの

袋のようなものだから、立ち上がったら、脚に血が集まってしまうのが当たり前ではないでしょうか？

あるいは、ずっと立ち続けていたら脚の方に血が集まってしまい、脳には血がいかなくなってしまうのではないのでしょうか？

実はこのような状態の時、下半身の血管が姿勢の変化に反応して収縮することにより、脳に血を送るということを自動的に私たちの身体は行っているのです。

しかし、その血管の働きが弱い場合、起立性調節障害という病態が発生します。

病態を簡単に説明すると、脳に血液が回りにくくなっているという状態です。どんな症状が出現するかという

・ 血の気が引く感じがする
(脳に血がいついていないのですから)

・ 息苦しい感じがする

(血で酸素を運ぶので、脳は息苦しく感じてしまいます)

・ 吐き気

(前述と同様の理由)

という症状に引き続き、動悸と過呼吸が始まります。

この動悸と過呼吸は脳が酸素不足を感じて、指令を出すから引き起こされるものであり、決して危険なものではありません。ただ、患者さんはこの時点で強い不安を感じることが多いです。

起立性調節障害は、正常血圧でも起こりえますが、血圧の低い人により多く起こります。また気温が上がると人間は血圧が下がるので、蒸し暑い電車の中などで立ちっぱなしだとよく起こります。

立ち続けることによって起こる病態なので、しばらく横になっていると症状が

消失してしまうことも特徴です。気分が悪くなつて救急受診したけれどなんでもなかったということも多くみられます。

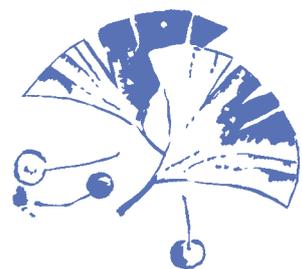
予防としては、脱水を避

けるため塩分と水分をきちんととること、寝不足を避けることにつきます。

なつてしまつたら、横になつて脚を上げる、それが出来なければ相撲の蹲踞ぞんぎょの姿勢(立ち合いの姿勢)をとるといいのかもしれないと思います。それでもダメな場合は昇圧剤を用いるとよいと思います。

パニック発作と起立性調節障害が混在する患者さんを診察する機会が多く、2つの発作を丁寧な問診で区別し対処していきたいと考えています。

・ 立ち続けることによつて起こる病態なので、しばらく横になっていると症状が



〈工藤耕太郎略歴〉

【学歴】

一九九六年三月 山梨医科大学医学部医学科卒業
二〇〇二年三月 山梨医科大学医学部大学院博士課程生態系卒業

【職歴】

一九九六年四月 山梨医科大学精神神経医学講座入局
二〇〇二年二月 山梨医科大学精神神経医学講座助手
二〇〇四年四月 国立精神・神経センター武蔵病院厚生技官
二〇〇五年四月 東京大学精神神経科助手
二〇〇六年三月 滋賀医科大学精神医学講座助手
二〇〇七年五月 滋賀医科大学精神医学講座学内講師
二〇〇八年より大学を離れ
二〇一三年より現職

◆ドクターヨシダの一口コラム(43)◆ 『花子とアン』の主題歌

医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック院長
吉田 栄治

今回は、というか、今回も、ちよつと軽いお話です。

NHKの朝の連続テレビ小説『花子とアン』に、実はこの半年間はまっついでいました。毎朝これを見てから家を出ていました。中学時代、あこがれの国語の先生(女性)が『赤毛のアン』が大好きだという話を何かの拍子に聞いて、新潮文庫から出ていた村岡花子さん翻訳の『赤毛のアン』シリーズ「全十巻を、当時私も読みましてファンになりました。今も当時の文庫本を持っています。ページはすっかり茶色にすすけていますが…。

そんな思い出のある『赤毛のアン』の翻訳者、村岡花子さんを主人公にした物語と聞いて、どんな人だったのだろうか…と大変興味があり、テレビを見始めました。吉高由里子さん演じる花子も明るくて楽しくて、はまってしまいました(ドラマは9月いっぱいまで終わってしまい、寂しいかぎりですけれども)。

このドラマの中の、絢香さん作詞作曲の主題歌『にじいろ』が、これまた素敵な曲なんです。毎朝聞いていましたので、永田町の駅を降りて、クリニックまで歩いてくるときに、
♪これからはじまるあなたの物語
ずっと長く道は続くよ♪

と小声で口ずさんでしまっているときが、ちよくちよくありました。

この主題歌、最初のころは、とどこどころ何を言っているのかよくわからないところがあつて、また、今風の鼻にかけたような発音なのか、私のような年配者には、ちよつと発声がおかしいのではないかと思うところもあつて、家内と一緒に突っ込みまくっていました。サビの部分で、「まぶしいね(エ)！ ガーオの奥に…」と言っているように思われるところがあるんですが、絢香さんは「まぶしいエ！」と、歌っているんですね。「まぶしいね！」でしょ！ どうして「ね」を「え」って発音するの！ と毎回、突っ込みを入れていました。それに、「ガーオの奥」っていったい何のことだ？ 発音がおかしいぞ！ と思っていたわけです。そうしましたら、「まぶしいね！」ではなくて「まぶしいえ」で正しかったんですね。インターネットで歌詞を調べてわかりました。

♪まぶしい笑顔の奥に
悲しい音がする♪

という歌詞だったんですね。しかし、それならば、「まぶしいえ、ガーオのおくに…」と変なところで切らないでよと、私のようにもう五〇代にもなるおじさん

は思ってしまったわけです。そのあとのフレーズもそうです。

♪寄り添って今があつて
こんなにも愛いとおしい♪

ここでも、「こんなに、もいとーしい」と歌うわけですよ。「モイトー」って何？ 「しいー」って何のこと？ と、しばらく混乱していました。最近の歌は、音の区切りを文節に合わせなくて変ですよ。

次のところも、意味がちよつとおかしくないか？ と、最初のうちは理解に窮していました。「手をつなげば温かいこと嫌いになれば…」と息つきなしで続くんですね。ですから、どうして「手をつなげば温かい」という良いことを、嫌いにならないければいけないんだ？ と大いに疑問に思っていたわけです。歌詞を見ましたら、
♪手をつなげば温かいこと、
嫌いになれば一人になつてくこと♪

♪一つ一つがあなたになる
道は続くよ♪

と、この二つを対比して、とつながつていつているのではありません。それであれば「手をつなげば温かいこと」とここで一息入れてほしいところです。そしてテレビバージョンの最

後のところもよく聞き取れないところでした。「風が運ぶ気候のため、髪が夢のつぼみになる」と聞こえるんですね。どういことかなあと思っていたら、

♪風が運ぶ希望の種
光が夢のつぼみになる♪

こうしてちゃんと歌詞も理解して、毎朝この歌をじっくり聴いていますと、その後はその節回しにも慣れて、実にいい歌だなあと、つくづく感じるようになります。

先日インターネットで検索しましたら、二番のサビのところの歌詞もアップされていて、これがまた良くてジーンときてしまいました。音楽に合わせて口ずさんでいただと、とてもいいと思います。
♪無くした物を数えて
瞳(ひとみ)閉ざすよりも
あるものを数えた方が
瞳輝きだす♪

♪あなたが笑えば誰かも笑う
こと
乗り越えれば強くなること
一つ一つがあなたになる
道は続くよ♪

YouTubeに、この「にじいろ」をフルバージョンで歌っているアマチュア(?)の方の動画があつて、とても上手に歌ってお

られて結構ぐつときますので、ぜひ聴いてみてください。この歌(特に二番のサビの部分)を聴いていて、いろいろなことで苦しんでおられる患者さん方への応援歌のように感じました。

そして最後に、最初のフレーズがもう一度繰り返されて歌は終わります。
♪これから始まるあなたの物語
ずっと長く道は続くよ
にじいろの雨降り注げば
空は高鳴る♪

苦しいことがあつても、一人一人がそれを乗り越えて、きつと笑顔になれる日が来るんだと信じ、自身自身の物語を紡いでいくんだと思います。



〈吉田栄治略歴〉

一九五九年生まれ。
一九八四年防衛医科大学校医学部
医学科卒業。自衛隊中央病院第一
精神科、自衛隊岐阜病院精神科、
自衛隊仙台病院初代精神科部長を
経て、二〇〇三年九月より心療内
科・神経科 赤坂クリニック院長。

病(やまい)と詩(うた)【32】 — ウィリアム・S・クラーク先生(2) —

東京大学名誉教授

大井 玄

その性格、宗教心と価値観

「私はいつでも誰よりも速く走り、幅跳びでも高跳びでも誰にも負けず、喧嘩は一番強く、泳ぎも一番うまかった」という後年の回想は、人に抜きんでいうという彼の性格を表している。負けず嫌いなのである。

アマースト大学は牧師養成大学として知られたほど宗教色が強かった。牧師は人の心を打つ説教をしなければならぬ。大学が修辭学を重視したため、彼は持つて生まれた弁論の才能を伸ばす機会に恵まれた。後に彼はマサチューセッツ州での雄弁家としての名声をほしきままにする。

また学生の彼はここで宗教的回心を経験した。長い祈りを続けていたある時「主よ、我信ず。信仰なき我を助けたまえ」と叫んでしまう。すると気持ちが高ぶった聖書を読み始めた、と母への便りにしたためている。それは「お母さんが永遠の世界に入るときには、『死よ、汝の棘

はいずこにありや、墓よ、汝の勝利はいずこにありや」と言い得ますようにと祈ります。息子より」と締めくくられている。歴史上数々の回心は宗教的信念を極めて強くしている。

興味あるのは、彼が野心を肯定していることだ。入植者の数

に比べ限らない広さをもつよう力では、まず自立自尊が生存の基本倫理であった。野心や貪欲はその倫理と両立する。それは彼の大学卒業の際行った「錬金術師」という演説にも現れている。その中で彼は錬金術師が偽りの証明をする悪漢だと思われているのはおかしいことだと述べて以下の弁護をしている。

卑金属を黄金に変えるという操作を発見する可能性を目前にして、錬金術師の心には天翔ける希望、熱烈な欲望、成功への不動の確信が生じたのですが、それが彼の心の中に貪欲と野心という消えることのない火を点じたのです。それが彼の強い信条に訴え、彼の精神の飽くこと

なき憧れを充足するかに思えたのです(中略)しかし錬金術師の苦勞からもたらされた最大の利益というのは、独立独歩の、しかも、たえざる効果的な努力をする姿を模範として我々に示してくれたことだと思えます。(後略)

クラークは努力、勤勉、独立性を強調しているが、経済的野心を肯定する背景にはアマースト大学在学中経済的に困窮したこともあったのではないかと学費が払えないので退学をも考えたほどだった。彼はその窮状を緑柱石などの美しい鉱物標本を探掘して金に変える方法で凌いで。後に鉱山会社の経営に失敗し「山師」と誹謗される芽がここに認められる。

また彼の価値観で注目すべきは、人種差別意識がなかったことだ。南北戦争で戦い勇敢な戦士、すぐれた指揮官として認められた彼がアマーストに戻り軍人としての所感を求められたとき、彼は奴隷制度はもう解決済みであり「私が南軍と戦って

いるときには、栄えある国旗のためにというよりも、呪われた奴隷制度をこの国から払拭したためという気持ちの方が強かったことは確かです」と述べている。

マサチューセッツ農科大学学長としてのクラーク

この新設大学の教育目標は極めて野心的だった。つまり農業に精通するばかりでなく、最高の知的訓練、肉体の健全な発達を促す鍛錬と道徳的涵養を受けた卒業生を出すのである。とはいうものの新設の農科大学にどのくらい入学希望者が集まるか不安だったので、50〜60人の受験者の姿を観たときは大喜びで全員入学させている。教授4名、学生50名のささやかな出発だった。

クラークが偉大な教師であったことは疑いない。経験の豊かさを生かし、愉快な逸話と沢山のデータを駆使し、無味乾燥に陥りやすい科学のこまごました点をおもしろく易しく教えた。学生が相談すると熱心にそれに

応え、助言は適切で賢明だった。

しかし彼は教師として尊敬されたが、必ずしも愛されてはいない。それは学生たちに対する強圧的な態度による。たとえば1870年には農場での労働作業についての不満が高まりストライキが横行された。大学理事

会に学生の不満分子が陳情書を提出しようとしたとき、彼はそれを握りつぶした。学生は抗議集会を開き学長の出席を求めた。出席した彼は学生の言い分を聞かず、ストライキは大学当局に対する公然の反抗であると述べた。その時彼は「前言を取り消し、大学当局に即時服従する。さもなければ退学する旨の誓約書」と後に称せられる紙切れを学生に渡したが、それに署名する学生は誰もいなかった。

クラークの権威主義的態度は、1872年6月にも表れている。学内弁論大会への学生参加者の選出に抗議し、3年生19名のうち12名が署名入りの書面を学長クラークに提出した。それは1年生、2年生について「参

加出場の選出がその能力を無視しているので公平を欠く」というもので、「選ばれた者には言語障害があり迷惑している」という理由で参加学生の再選出を求めた。しかも選びなおすが、「全体的見地から不都合だ」という場合、3年生は弁論大会参加を辞退する旨が書いてあった。彼は辞退は結構だが、「大学の公的行事に対する責任を痛感しないことを遺憾に思う」と述べていて怯むところはまったくなかった。

以上のような問題が起こっているものの、クラークが学長として成功していることは広く学外にも知られるようになった。1872年にはインディアナ州パーデュー大学からより良い条件で学長として招聘されたがこれを断っている。

1876年初め、学生数は倍以上になり教授陣も増強され、校舎も増え、農場が拡大された。ブラジル、チリ、日本などの外国からの留学生もいた。その一方で入学者と卒業者が年ごと

に減少し1871年に比べそれぞれほとんど半数近くに落ち込んでいる。その理由をクラークは、成績優秀だが貧乏な学生に対し州当局の財政援助が全くないことに帰していた。

大学の日増しに募る困難な問題から一時逃れるような形で、1876年から77年にかけての8か月間、彼は札幌農学校で日本の少年たちを薫陶したのである。

次号に続く



〈大井 玄略歴〉
一九三五年生まれ。
一九六三年東京大学医学部卒。
東京大学名誉教授。
元国立環境研究所所長。
臨床医の立場を維持しながら国際保健、地域医療、終末期医療にかかわってきた。

● 野鳥図鑑 ●



【エゾビタキ】

春と秋の渡りの時期に日本を通過するだけの鳥を「旅鳥」と呼んでいる。エゾビタキもその仲間、カムチャッカ半島やサハリンで繁殖し、東南アジアで越冬する。渡りの途中の個体を山麓の林や街中の公園で見ることができる。1年で僅かの期間にしか出会えないので、そのチャンスをもにしようとする観察者は楽しみに探すのである。

撮影 日本野鳥の会 岐阜代表 大塚之穂



フクロウ博士の チョット一言

今回は今見直されている聖徳太子の17条の憲法の第1条を示そう。

「一曰。以和為貴。無忤為宗。人皆有黨。亦少違者。是以或不順君父。乍違于隣里。然上和下睦。諧於論事。則事理自通。何事不成。」

(書き下し文)

一に曰く、和を以て貴しと為し、忤ふること無きを宗とせよ。人皆党有り、また達れる者は少なし。或いは君父に順ず、乍隣里に違ふ。然れども、上和ぎ下睦びて、事を論うに諧うときは、すなわち事理おのずから通ず。何事か成らざらん。

(ウィキペディア フリー百科事典より)